

学校コード F113310103778

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

東京経済大学 コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科

**【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)**

学校法人東京経済大学

令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	学務部 研究課
職名・氏名	カチョウ タケウチ マサエ 課長 竹内 正江
電話番号	042-328-7742 (内線: 2440)
(夜間)	042-328-7711 (内線: 2252)
e-mail	kyomu@s.tku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「〇〇大学」
- 学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

コミュニケーション学部

＜国際コミュニケーション学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	39
7. その他全般的事項	40

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人東京経済大学

(2) 大学名

東京経済大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒185-8502

東京都国分寺市南町1丁目7番34号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(スガワラ ヒロタカ) 菅原 寛貴 (令和2年6月1日)		
学長	(オカモト ヒデオ) 岡本 英男 (平成30年4月1日)		令和4年4月1日重任
学部長	(ヤマダ ハルミチ) 山田 晴通 (令和2年4月1日)		令和4年4月1日重任
学科長等	なし		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科 学士（コミュニケーション学）	文学関係 社会学・社会福祉学関係	4 年	90 人	2年次 0 3年次 0 4年次 0 人	360 人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率（控除後）	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90人	90人	-	-	0.98倍	-	0.93倍	-	※入学定員90人にはキャリアデザインプログラム履修学生5人を含む。志願者数、受験者数、合格者数、入学者数にはキャリアデザインプログラム履修学生を含まない。 ※平均入学定員超過率及び収容定員充足率には、キャリアデザインプログラム履修学生を含む。
	志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	518	485	(-)	(-)					
	受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	489	459	(-)	(-)					
	合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	251	216	(-)	(-)					
	B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	80	86	(-)	(-)					
	入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.88	0.95							

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を出す大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を出す大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	76	-	86	-	令和5年度における1年次生には、キャリアデザインプログラム履修学生として5名が在籍している（86名には含まず）。 同プログラム履修学生は2年次進級時に所属学部学科を希望、選択したうえで、所属することになる。
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	76	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	76	-	162	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は「」書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
令和3年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
令和4年度	80 人	4 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	4 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2名)、学生個人の心身に関する事情(1名)、その他(1名)
令和5年度	86 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	— 人	— 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		4 人		4 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{80} = \boxed{5} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{86} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科>

(1) ① 授業科目表

【履出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼担		
			必修	選択	教員	准教授	講師	助教	助手				
総合教育科目	総合英語セミナーⅠ	1前・後	2	2	1	1							
	総合英語セミナーⅡ	1前・後	2	2	1	2							
	総合英語セミナーⅢ	1前・後	2	2	1	2							
	総合英語セミナーⅣ	1後	2	2	1								
	TOEIC Ⅰ	2-3・4前・後	1	1		1							
	TOEIC Ⅱ	2-3・4前・後	1	1		1							
	TOEIC Ⅲ	2-3・4後	1	1		1							
	小計 (7科目)	—	0	11	0	0	1	2	0	0	0	兼2	
	ベーシック科目	文章表現基礎Ⅰ	1前	2	2							兼2	
		文章表現基礎Ⅱ	1後	2	2							兼2	
		日本語表現Ⅰ	2-3・4前	2	2							兼5	
		日本語表現Ⅱ	2-3・4後	2	2							兼5	
		小計 (4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼7
		教養課程科目	文系のための基礎数学Ⅰa	1前	2	2							兼2
			文系のための基礎数学Ⅰb	1後	2	2							兼2
			文系のための基礎数学Ⅱa	2-3・4前	2	2							兼1
			文系のための基礎数学Ⅱb	2-3・4後	2	2							兼1
			小計 (4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0
	コンピュータ科目		コンピュータ・リテラシー入門	1前	2	2							兼5
			コンピュータ・リテラシー応用Ⅰ	1-2・3・4後	2	2							兼6
			コンピュータ・リテラシー応用Ⅱ	1-2・3・4後	2	2							兼2
		情報リテラシー入門	1-2・3・4前	2	2							兼1	
		情報リテラシー応用	1-2・3・4後	2	2							兼1	
	小計 (5科目)	—	2	8	0	0	0	0	0	0	0	兼11	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・兼担		
			必修	選択	教員	准教授	講師	助教	助手				
総合教育科目	総合英語セミナーⅠ	1前・後	2	2	1	1							
	総合英語セミナーⅡ	1前・後	2	2	1	2							
	総合英語セミナーⅢ	1前・後	2	2	1	2							
	総合英語セミナーⅣ	1後	2	2	1								
	TOEIC Ⅰ	2-3・4前・後	1	1		1							
	TOEIC Ⅱ	2-3・4前・後	1	1		1							
	TOEIC Ⅲ	2-3・4後	1	1		1							
	小計 (7科目)	—	0	11	0	0	1	2	0	0	0	0	
	ベーシック科目	文章表現基礎Ⅰ	1前	2	2							兼5	
		文章表現基礎Ⅱ	1後	2	2							兼5	
		日本語表現Ⅰ	2-3・4前	2	2							兼7	
		日本語表現Ⅱ	2-3・4後	2	2							兼5	
		小計 (4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼11
		教養課程科目	文系のための基礎数学Ⅰa	1前	2	2							兼2
			文系のための基礎数学Ⅰb	1後	2	2							兼2
			文系のための基礎数学Ⅱa	2-3・4前	2	2							兼3
			文系のための基礎数学Ⅱb	2-3・4後	2	2							兼3
			小計 (4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	0
	コンピュータ科目		コンピュータ・リテラシー入門	1前	2	2							兼5
			コンピュータ・リテラシー応用Ⅰ	1-2・3・4後	2	2							兼13
			コンピュータ・リテラシー応用Ⅱ	1-2・3・4後	2	2							兼2
		情報リテラシー入門	1-2・3・4前	2	2							兼1	
		情報リテラシー応用	1-2・3・4後	2	2							兼1	
	小計 (5科目)	—	2	8	0	0	0	0	0	0	0	兼18	

【届出時】

Table with columns: 科目区分, 授業科目の名称, 配当年次, 単位数, 専任教員等の配置, 兼任, 責任. Rows include: 総合教育科目, 教養講義科目, 教養演習科目, 留学生向け目録ベシツク科, 進修科目, 学部共通科目.

【令和5年度】

Table with columns: 科目区分, 授業科目の名称, 配当年次, 単位数, 専任教員等の配置, 兼任, 責任. Rows include: 総合教育科目, 教養講義科目, 教養演習科目, 留学生向け目録ベシツク科, 進修科目, 学部共通科目.

【届出時】

Table with columns: 科目区分, 授業科目の名称, 配当年次, 単位数, 専任教員等の配置, 責任・兼任. Includes sub-sections for 調査系, ワークショップ科目, 英語系, 国際コミュニケーション科目, 学際専門科目, 英語系, 総合科目.

【令和5年度】

Table with columns: 科目区分, 授業科目の名称, 配当年次, 単位数, 専任教員等の配置, 責任・兼任. Includes sub-sections for 調査系, ワークショップ科目, 英語系, 国際コミュニケーション科目, 学際専門科目, 英語系, 総合科目.

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	教授	准教授	講師	助手		
総合教育科目	英語に関する科目	総合英語セミナーⅠ	1前・後	2			1	1		
	総合英語セミナーⅡ	1前・後	2			1	2			
	総合英語セミナーⅢ	1前・後	2			1	2			
	総合英語セミナーⅣ	1後	2			1				
	TOEIC I	2・3・4前・後	1			1				
	TOEIC II	2・3・4前・後	1			1				
	TOEIC III	2・3・4後	1			1				
	小計 (7科目)	—	0	11	0	0	1	2	0	0
	ペーパークラフト科目	文章表現基礎Ⅰ	1前	2						兼2
	文章表現基礎Ⅱ	1後	2							兼2
	日本語表現Ⅰ	2・3・4前	2							兼5
	日本語表現Ⅱ	2・3・4後	2							兼6
	小計 (4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0
	数学的思考に関する科目	文系のための基礎数学Ⅰa	1前	2						兼2
文系のための基礎数学Ⅰb	1後	2							兼2	
文系のための基礎数学Ⅱa	2・3・4前	2							兼2	
文系のための基礎数学Ⅱb	2・3・4後	2							兼2	
小計 (4科目)	—	0	8	0	0	0	0	0	0	
コンピュータ科目	コンピュータ・リテラシー入門	1前	2						兼5	
コンピュータ・リテラシー応用Ⅰ	1・2・3・4後	2							兼6	
コンピュータ・リテラシー応用Ⅱ	1・2・3・4前	2							兼2	
情報リテラシー入門	1・2・3・4前	2							兼1	
情報リテラシー応用	1・2・3・4後	2							兼1	
小計 (5科目)	—	2	8	0	0	0	0	0	0	
英語	英語コミュニケーションⅠ	1前	2	2	2	2			兼1	
英語コミュニケーションⅡ	1後	2	2	2	2				兼1	
Business English I	2・3・4前	1				1				
Business English II	2・3・4後	1				1				
Academic English	2・3・4前	1		1						
English & Culture	2・3・4後	1				1				
Advanced English I a	2前	1				1				
Advanced English I b	2後	1				1				
Advanced English II a	2前	1				1				
Advanced English II b	2後	1				1				
Advanced English III a	3・4前	1				1				
Advanced English III b	3・4後	1				1			兼1	
Advanced English IV a	3・4前	1				1				
Advanced English IV b	3・4後	1				1				
小計 (14科目)	—	4	12	0	2	2	2	0	0	
選択語学	ドイツ語初級	1・2・3・4通	2						兼3	
フランス語初級	1・2・3・4通	2							兼4	
スペイン語初級	1・2・3・4通	2							兼4	
イタリア語初級	1・2・3・4通	2							兼1	
中国語初級	1・2・3・4通	2							兼6	
朝鮮・韓国語初級	1・2・3・4通	2							兼3	
海外語学研修	1・2・3・4休	2							兼3	
ドイツ語中級	2・3・4通	2							兼1	
フランス語中級	2・3・4通	2							兼2	
スペイン語中級	2・3・4通	2							兼1	
イタリア語中級	2・3・4通	2							兼1	
中国語中級	2・3・4通	2							兼2	
朝鮮・韓国語中級	2・3・4通	2							兼1	
小計 (13科目)	—	0	26	0	0	0	0	0	0	
スポーツ科目	スポーツA	1・2・3・4前・後	1							兼5
スポーツB	1・2・3・4前・後	1								兼5
スポーツC	2・3・4休	1								兼2
小計 (3科目)	—	0	3	0	0	0	0	0	0	
総合教育科目	教養入門	1前	2							兼6
現代社会の基礎知識	1前・後	2								兼2
哲学a	1・2・3・4前	2								兼1
哲学b	1・2・3・4後	2								兼1
論理学a	1・2・3・4前	2								兼1
論理学b	1・2・3・4後	2								兼1
倫理学a	1・2・3・4前	2								兼1
倫理学b	1・2・3・4後	2								兼2
社会思想a	1・2・3・4前	2								兼1
社会思想b	1・2・3・4後	2								兼1
現代社会と宗教a	1・2・3・4前	2								兼1
現代社会と宗教b	1・2・3・4後	2								兼1
文化人類学	1・2・3・4前	2				1				兼1
文化人類学b	1・2・3・4後	2				1				兼1
言語学a	1・2・3・4前	2								兼1
言語学b	1・2・3・4後	2								兼1
カルチュラル・スタディーズa	1・2・3・4前	2			1	0				
カルチュラル・スタディーズb	1・2・3・4後	2			1	0				
生命の科学a	1・2・3・4前	2								兼1
生命の科学b	1・2・3・4後	2								兼1
地球の科学a	1・2・3・4前	2								兼1
地球の科学b	1・2・3・4後	2								兼1
環境の科学a	1・2・3・4前	2								兼1
環境の科学b	1・2・3・4後	2								兼1
自然の構造a	1・2・3・4前	2								兼1
自然の構造b	1・2・3・4後	2								兼1
自然地理学a	1・2・3・4前	2								兼1
自然地理学b	1・2・3・4後	2								兼1
数理の科学Ⅰa	1・2・3・4前	2								兼1
数理の科学Ⅰb	1・2・3・4後	2								兼1
数理の科学Ⅱa	1・2・3・4前	2								兼1
数理の科学Ⅱb	1・2・3・4後	2								兼1
歴史で知る東京経済大学	1・2・3・4前・後	2								兼1
日本史Ⅰa	1・2・3・4前	2								兼1
日本史Ⅰb	1・2・3・4後	2								兼1
日本史Ⅱa	1・2・3・4前	2								兼1
日本史Ⅱb	1・2・3・4後	2								兼1
外国史Ⅰa	1・2・3・4前	2								兼1
外国史Ⅰb	1・2・3・4後	2								兼1
外国史Ⅱa	1・2・3・4前	2								兼1
外国史Ⅱb	1・2・3・4後	2								兼1
人文地理学a	1・2・3・4前	2								兼1
人文地理学b	1・2・3・4後	2								兼1
世界の地域と文化a	1・2・3・4前	2								兼1
世界の地域と文化b	1・2・3・4後	2								兼1
心理学a	1・2・3・4前	2								兼2
心理学b	1・2・3・4後	2								兼2

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	教授	准教授	講師	助手	助手		
総合教育科目	精神の科学a	1-2-3-4前	2								兼1
	精神の科学b	1-2-3-4後	2								兼1
	教育学a	1-2-3-4前	2								兼1
	教育学b	1-2-3-4後	2								兼1
	健康の科学a	1-2-3-4前	2								兼1
	健康の科学b	1-2-3-4後	2								兼1
	スポーツの科学a	1-2-3-4前	2								兼1
	スポーツの科学b	1-2-3-4後	2								兼1
	芸術学a	1-2-3-4前	2								兼1
	芸術学b	1-2-3-4後	2								兼1
	日本文学I a	1-2-3-4前	2								兼1
	日本文学I b	1-2-3-4後	2								兼1
	日本文学II a	1-2-3-4前	2								兼1
	日本文学II b	1-2-3-4後	2								兼1
	外国文学I a	1-2-3-4前	2								兼1
	外国文学I b	1-2-3-4後	2								兼1
	外国文学II a	1-2-3-4前	2								兼1
	外国文学II b	1-2-3-4後	2								兼1
	メディア表現a	1-2-3-4前	2								兼1
	メディア表現b	1-2-3-4後	2								兼1
	コミュニケーション論a	1-2-3-4前	2								兼1
	コミュニケーション論b	1-2-3-4後	2								兼1
	異文化コミュニケーションa	1-2-3-4前	2								兼1
	異文化コミュニケーションb	1-2-3-4後	2								兼1
	政治学a	1-2-3-4前	2								兼1
	政治学b	1-2-3-4後	2								兼1
	社会学a	1-2-3-4前	2								兼1
	社会学b	1-2-3-4後	2								兼1
	法学	1-2-3-4前	2								兼1
	日本国憲法	1-2-3-4前・後	2								兼2
	人権論a	1-2-3-4前	2								兼1
	人権論b	1-2-3-4後	2								兼1
	世界政治論a	1-2-3-4前	2								兼1
	世界政治論b	1-2-3-4後	2								兼1
	ジェンダー論a	1-2-3-4前	2								兼1
	ジェンダー論b	1-2-3-4後	2								兼1
	情報社会論a	1-2-3-4前	2								兼1
	情報社会論b	1-2-3-4後	2								兼1
	都市と市民a	1-2-3-4前	2								兼1
	都市と市民b	1-2-3-4後	2								兼1
平和学a	1-2-3-4前	2								兼1	
平和学b	1-2-3-4後	2								兼1	
福祉論a	1-2-3-4前	2								兼1	
福祉論b	1-2-3-4後	2								兼1	
経営学a	1-2-3-4前	2								兼1	
経営学b	1-2-3-4後	2								兼1	
小計 (93科目)	—	—	0	186	0	1	1	0	0	0	兼47
教育実践科目	教養ゼミ	1後	2								兼7
	総合教育ワークショップ	1-2-3-4前・後	2								兼10
	英語で学ぶ教養	1-2-3-4前・後	2								兼3
	総合教育演習	2-3-4通	4								兼29
	総合教育研究	4通	4								兼29
小計 (5科目)	—	—	0	14	0	0	0	0	0	0	兼30
留学生向けバリエーション科目	日本語基礎セミナーI a	1前	2								兼1
	日本語基礎セミナーI b	1後	2								兼1
	日本語基礎セミナーII a	2-3-4前	2								兼1
	日本語基礎セミナーII b	2-3-4後	2								兼1
	日本語基礎セミナーIII a	2-3-4前	2								兼1
	日本語基礎セミナーIII b	2-3-4後	2								兼1
	日本語基礎セミナーIV a	3-4前	2								兼1
	日本語基礎セミナーIV b	3-4後	2								兼1
	小計 (8科目)	—	—	0	16	0	0	0	0	0	0
進修科目	アカデミック・コンパス	1前	2				0				兼1
	キャリアデザイン入門	1後	2				1				兼1
	キャリアデザイン発展	2-3前	2					1			兼1
	職業選択とキャリア形成	2-3-4後	2								兼1
	ジェンダーとキャリア形成	2-3-4後	2								兼1
	雇用の変化とキャリア形成	2-3-4前	2								兼1
	インターンシップ	2-3-4通	2								兼1
	経済記事の読み方	2-3-4前	2								兼1
	企業・業界分析	2-3-4前・後	2								兼2
	キャリア基礎講座 (数的処理)	2-3-4後	2								兼1
	キャリア基礎講座 (文章表現)	3-4前・後	2					1			兼1
小計 (11科目)	—	—	0	22	0	0	1	1	0	0	兼7
学部共通科目	コミュニケーション学入門	1前	2								兼1
	社会調査入門	1-2-3-4後	2								兼2
	社会心理学	1-2-3-4後	2								兼1
	メディアリテラシー	1-2-3-4前	2			1					兼1
	コミュニケーション心理学	2-3-4後	2								兼1
	現代言語学	2-3-4前	2			1					兼1
	現代メディア史	2-3-4前	2				1				兼1
	比較メディア史	2-3-4後	2				1	0			兼1
	コンピュータコミュニケーション	2-3-4前	2								兼1
	広告論	2-3-4前	2								兼1
	プレゼンテーション論	2-3-4前・後	2								兼1
	アート論	2-3-4後	2								兼1
	地域文化論	2-3-4前	2			1					兼1
	映像文化論	2-3-4前	2								兼1
小計 (14科目)	—	—	0	28	0	2	2	0	0	0	兼9
演習科目	フレッシュヤーズ・セミナーa	1前	2			5	3	0			兼8
	フレッシュヤーズ・セミナーb	1後	2			2	3	0			兼8
	演習	2-3-4通	4			5	7	0			兼10
	卒業研究	4通	8			5	7	0			兼10
小計 (4科目)	—	—	8	8	0	5	7	0	0	0	兼12
ワークショップ科目	コミュニケーションワークショップ	1後	2					1			兼3
	小計 (1科目)	—	—	0	2	0	0	1	0	0	兼3
表現系	身体表現ワークショップ	2-3-4前・後	4								兼2
	メディアデザインワークショップ	2-3-4通	4			1	1	0			兼3
	日本語ワークショップ	2-3-4前	2			1					兼1
	表現と批評	2-3-4通	4			1					兼1
	小計 (4科目)	—	—	0	14	0	1	1	0	0	0

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	教授	准教授	講師	助手	手			
学部共通科目	社会調査ワークショップ1	2・3・4前・後	2									
	社会調査ワークショップ2	2・3・4前・後	2									
	社会調査ワークショップ3	2・3・4前・後	2									
	社会調査ワークショップ4	2・3・4前・後	2									
	社会分析ワークショップ	2・3・4前・後	2									
	社会調査実習	3・4通	4									
	小計(6科目)	—	0	14	0	2	3	0	0	0	0	兼3
	English Workshop A1 (時事英語)	2・3・4前	2									
	English Workshop A2 (時事英語)	2・3・4後	2									
	English Workshop B1 (海外文化)	2・3・4前	2									
	English Workshop B2 (海外文化)	2・3・4後	2									
	English Workshop C1 (日本文化)	2・3・4前	2									
English Workshop C2 (日本文化)	2・3・4後	2										
English Workshop D1 (英日翻訳法)	2・3・4前	2										
English Workshop D2 (英日翻訳法)	2・3・4後	2										
English Workshop E1 (Academic Writing)	2・3・4前	2										
English Workshop E2 (Academic Writing)	2・3・4後	2										
English Workshop F1 (Hospitality & Tourism)	2・3・4前	2										
English Workshop F2 (Hospitality & Tourism)	2・3・4後	2										
小計(12科目)	—	0	24	0	0	1	2	0	0	0	兼2	
国際コミュニケーション科目	English Skills (S&W) I	1前	1		2	2						
	English Skills (S&W) II	1後	1		2	2						
	English Skills (S&W) III	2前	1		2	2						
	English Skills (S&W) IV	2後	1		2	2						
	English Skills (S&L) I	2前	1		2	2	2					
	English Skills (S&L) II	2後	1		2	2	2					
	Reading for Communication Studies	3前・後	2		2	1						
	Digital Presentation in English	3前・後	2				2					
	異文化理解A	2・3・4前・後	1			1	3					
	異文化理解B	2・3・4後	1			1						
	Comprehensive English A I	2・3・4前	2				1					
	Comprehensive English A II	2・3・4後	2				1					
	Comprehensive English B I	2・3・4前	2				1					
	Comprehensive English B II	2・3・4後	2				1					
	Comprehensive English C I	2・3・4前	2			1						
	Comprehensive English C II	2・3・4後	2			1						
	Comprehensive English D I	2・3・4前	2				1					
	Comprehensive English D II	2・3・4後	2				1					
	海外言語文化概論 I	2・3・4前	2			1						
	海外言語文化概論 II	2・3・4後	2			1						
	海外言語文化事情 I	2・3・4前	2		1							
	海外言語文化事情 II	2・3・4後	2		1							
	海外言語文化研究 I	2・3・4前	2		1							
	海外言語文化研究 II	2・3・4後	2		1							
海外言語文化研究 III	2・3・4前	2		1								
海外言語文化研究 IV	2・3・4後	2		1								
グローバルインターンシップ	2・3・4前	2		1								
小計(27科目)	—	0	46	0	4	5	3	0	0	0		
学部専門科目	国際コミュニケーション基礎	1前	2			1	0					
	多文化社会で働く	2前	2			1						
	小計(2科目)	—	0	4	0	0	2	0	0	0		
	移動の生活学	2・3・4後	2			1	0					
	移動の社会学	2・3・4前	2			1	0					
	移動の文化学	2・3・4後	2			1						
	小計(3科目)	—	0	6	0	1	2	0	0	0		
	メディア文化論	2・3・4前	2			1						
	音楽文化論	2・3・4後	2			1						
	スポーツ文化論	2・3・4前	2			1						
	観光文化論	2・3・4後	2			1						
	小計(4科目)	—	0	8	0	2	1	0	0	0	兼1	
異文化マネジメント論	2・3・4後	2			1							
ホスピタリティ産業論	2・3・4前	2			1							
観光ビジネス論	2・3・4後	2			1							
グローバルキャリア論	2・3・4前	2			1							
小計(4科目)	—	0	8	0	1	1	1	0	0	兼1		
英語学概論	2・3・4後	2			1							
比較文化論	2・3・4後	2			1							
英米文学	2・3・4前	2			1							
英米文化論	2・3・4後	2			1							
英語学文化論	2・3・4前	2			1							
英文構成法	2・3・4前	2			1							
パブリック・スピーキング	2・3・4後	2			1							
小計(7科目)	—	0	14	0	2	1	0	0	0	0		
海外短期研修	1・2・3・4休	2			1							
小計(1科目)	—	0	2	0	2	1	0	0	0	0		
合計(256科目)	—	—	14	492	0	6	7	3	0	0	兼11	

卒業要件及び履修方法

- ・総合教育科目から30単位(うち必修「英語コミュニケーションⅠ」2単位、「英語コミュニケーションⅡ」2単位、「コンピュータリテラシー入門」2単位を含む。)を修得する。
- ・進一層科目、学部共通科目、展開科目から70単位(うち進一層科目から6単位、必修「卒業研究」10単位、展開科目のうち「異文化理解A」もしくは「異文化理解B」のいずれか1単位、展開科目のうち学部専門科目から20単位を含む。)を修得する。
- ・各科目群の卒業必要単位数を超過した24単位以上を修得する。
- ・合計124単位以上を修得する。

履修科目の登録の上限:48単位(年間)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**履修希望者がいないために未開講となった科目**についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には【※】、「臨地実務実習」による授業科目には【臨】、「連携実務実習」による授業科目には【連】を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・語記により、「文系のための基礎数学Ⅱa」の兼任・兼任を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・語記により、「文系のための基礎数学Ⅱb」の兼任・兼任を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「コンピュータ・リテラシー入門」の兼任・兼任を「兼5」から「兼6」に変更。
- ・時間割調整のため、「日本国憲法」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・履修状況に伴う減免措置及び授業編成上の理由により、「教養ゼミ」の兼任・兼任を「兼10」から「兼7」に変更。
- ・履修状況に伴う減免措置及び授業編成上の理由により、「総合教育ワークショップ」の兼任・兼任を「兼13」から「兼10」に変更。
- ・履修状況に伴う減免措置により、「英語で学ぶ教養」の兼任・兼任を「兼4」から「兼3」に変更。
- ・担当者の教員身分格により、「アカデミック・コンパス」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当者の教員身分格により、「社会調査ワークショップ4」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当者の教員身分格により、「国際コミュニケーション基礎」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当者の教員身分格により、「移動の生活学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当者の教員身分格により、「社会分析ワークショップ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当者の教員身分格により、「比較メディア史」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・時間割調整に伴う担当者変更のため、「カルチュラル・スタディーズ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・時間割調整に伴う担当者変更のため、「アカデミック・コンパス」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・時間割調整に伴う担当者変更のため、「メディア表現」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼任を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・時間割調整に伴う担当者変更のため、「メディア表現b」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼任を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・履修状況に伴う担当者変更により、「アカデミック・コンパス」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、兼任・兼任を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当者の教員身分格により、「異文化理解A」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授4」から「准教授3」に変更。
- ・担当者の教員身分格により、「移動の社会学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当者の教員身分格及び時間割調整に伴う担当者変更により、「フレッシャーズ・セミナー」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」に、「准教授4」から「准教授3」に、「講師1」から「講師0」に、兼任・兼任を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「フレッシャーズ・セミナー」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」に、「准教授2」から「准教授3」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「社会調査入門」の兼任・兼任を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「コミュニケーションワークショップ」の兼任・兼任を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「海外短期研修」の配当年次を「1・2・3・4前・後」から「1・2・3・4休」に変更し、専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・時間割調整に伴う担当者変更のため、「英語コミュニケーション1」の兼任・兼任を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当者の教員身分格により、「演習」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授7」に、「講師2」から「講師0」に変更。
- ・担当者の教員身分格により、「英語と文化」の兼任・兼任を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当者の教員身分格により、「英語と文化」の兼任・兼任を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当者の休職に伴う担当者交代により、「フランス語初級」の兼任・兼任を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・担当者の休職に伴う担当者交代により、「フランス語中級」の兼任・兼任を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「海外語学研修」の配当年次を「1・2・3・4前・後」から「1・2・3・4休」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「スポーツ」の配当年次を「2・3・4前・後」から「2・3・4休」に変更。

【令和5年度】

- ・時間割調整に伴う担当者変更のため、「TOEIC I」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・時間割調整に伴う担当者変更のため、「TOEIC II」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「Audience English」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更し、専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「English & Culture」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・時間割調整に伴う担当者変更のため、「カルチュラル・スタディーズ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」に変更。
- ・時間割調整に伴う担当者変更のため、「カルチュラル・スタディーズ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・時間割調整に伴う担当者変更のため、「メディア表現」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼任を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・時間割調整に伴う担当者変更のため、「メディア表現b」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼任を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・履修状況に伴う担当者変更により、「アカデミック・コンパス」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、兼任・兼任を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「卒業研究」の兼任・兼任を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「社会調査入門」の兼任・兼任を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「メディアリテラシー」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・担当者の教員身分格により、「比較メディア史」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「コンピュータコミュニケーション」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「プレゼンテーション論」の配当年次を「2・3・4前・後」から「2・3・4後」に変更。
- ・担当者の教員身分格及び時間割調整に伴う担当者変更により、「フレッシャーズ・セミナー」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授6」に、「准教授4」から「准教授3」に、「講師1」から「講師0」に、兼任・兼任を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・担当者の教員身分格及び授業運営上の都合により、「演習」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授1」に、「准教授6」から「准教授7」に、「講師2」から「講師0」に変更。
- ・担当者の教員身分格により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」に、「准教授6」から「准教授7」に、「講師2」から「講師0」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「コミュニケーションワークショップ」の兼任・兼任を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「身体表現ワークショップ」の兼任・兼任を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・担当者の教員身分格及び開講クラス数増加のため、「メディアデザインワークショップ」の配当年次を「2・3・4通」から「2・3・4前・通」に変更し、専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「社会調査ワークショップ1」の兼任・兼任を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「社会調査ワークショップ2」の兼任・兼任を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「社会調査ワークショップ3」の兼任・兼任を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「社会調査ワークショップ4」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に、兼任・兼任を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「社会分析ワークショップ」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に、兼任・兼任を「兼0」から「兼2」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「English Workshop A1 (時事英語)」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に、兼任・兼任を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「English Workshop A2 (時事英語)」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に、兼任・兼任を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「Academic Skills」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授1」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「English Skills (S&L)」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当者の教員身分格により、「異文化理解A」の配当年次を「2・3・4前・後」から「2・3・4後」に変更し、専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授4」から「准教授3」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「Comprehensive English AⅡ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「Comprehensive English BⅡ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「Comprehensive English CⅠ」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更し、専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「Comprehensive English DⅠ」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「Comprehensive English DⅡ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「海外言語文化概論Ⅰ」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「海外言語文化概論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「海外言語文化事情Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「海外言語文化事情Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「海外言語文化研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼任を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「海外言語文化研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「グローバルインターンシップ」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4休」に変更。
- ・担当者の教員身分格により、「国際コミュニケーション基礎」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当者の教員身分格により、「移動の生活学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当者の教員身分格により、「移動の社会学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「移動の文化学」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「メディア文化論」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「観光文化論」の配当年次を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更し、兼任・兼任を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「英語学概論」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「英語・文化論」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「海外短期研修」の配当年次を「1・2・3・4前・後」から「1・2・3・4休」に変更し、兼任・兼任を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「文章表現基礎Ⅰ」の兼任・兼任を「兼2」から「兼5」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「文章表現基礎Ⅱ」の兼任・兼任を「兼2」から「兼5」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「ドイツ語初級」の兼任・兼任を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「日本語表現Ⅱ」の兼任・兼任を「兼6」から「兼8」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「文系のための基礎数学Ⅱa」の兼任・兼任を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「文系のための基礎数学Ⅱb」の兼任・兼任を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「コンピュータ・リテラシー入門」の兼任・兼任を「兼5」から「兼7」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「コンピュータ・リテラシー応用Ⅰ」の兼任・兼任を「兼6」から「兼13」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「コンピュータ・リテラシー応用Ⅱ」の兼任・兼任を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「ドイツ語初級」の兼任・兼任を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「スペイン語初級」の兼任・兼任を「兼4」から「兼5」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「中国語初級」の兼任・兼任を「兼6」から「兼8」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「現代社会の基礎知識」の兼任・兼任を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「健康の科学a」の兼任・兼任を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「健康の科学b」の兼任・兼任を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「スポーツの科学」の兼任・兼任を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「スポーツの科学」の兼任・兼任を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・時間割調整のため、「日本国憲法」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前・後」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「人権論a」の兼任・兼任を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「人権論b」の兼任・兼任を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・履修状況に伴う減免措置による休講のため、「平和学a」の兼任・兼任を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・履修状況に伴う減免措置による休講のため、「平和学b」の兼任・兼任を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・履修状況に伴う減免措置及び授業編成上の理由により、「教養ゼミ」の兼任・兼任を「兼10」から「兼9」に変更。
- ・履修状況に伴う減免措置及び開講クラス数増加のため、「総合教育ワークショップ」の兼任・兼任を「兼13」から「兼18」に変更。また、授業運営上の都合により、配当年次を「1・2・3・4前・後」から「1・2・3・4前・休」に変更。
- ・履修状況に伴う減免措置及び開講クラス数増加のため、「英語で学ぶ教養」の兼任・兼任を「兼4」から「兼5」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「海外語学研修」の配当年次を「1・2・3・4前・後」から「1・2・3・4休」に変更。
- ・授業運営上の都合により、「スポーツ」の配当年次を「2・3・4前・後」から「2・3・4休」に変更。
- ・「異文化理解A」「異文化理解B」は選択必修科目であるので、卒業要件及び履修方法に、「展開科目のうち、「異文化理解A」「異文化理解B」から1単位を選択必修とする。」を追加。

(注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度 (令和4年度開講であれば令和3年度以前) の表は適宜削除してください。
・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
4 科目	252 科目	0 科目	256 科目	4 科目 []	252 科目 []	0 科目 []	256 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	平和学a	2	1・2・3・4前	一般	選択	役職就任に伴う減免措置により休講、代替措置なし
2	平和学b	2	1・2・3・4後	一般	選択	役職就任に伴う減免措置により休講、代替措置なし
3	海外語学研修	2	1・2・3・4休	一般	選択	海外研修支援科目につき研修受け入れ先との調整等の授業運営上の理由により休講、2024年度開講に向け調整中。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当教員の役職就任に伴う減免措置、授業運営上の理由等により一部科目を休講にした。学生に対して、ポータルサイト及びポータルサイトで配信している履修の手引きにて周知を行った。なお、これらの科目が未開講であっても学生の履修可能科目数や科目区分バランスは担保されている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{3}{256} = \boxed{1.17}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	運動場用地は校舎敷地と別地（スクールバスで約50分）			
	校舎敷地	97,379㎡	—	㎡	97,379㎡				
	運動場用地	39,655㎡	—	㎡	39,655㎡				
	小 計	137,034㎡	—	㎡	137,034㎡				
	そ の 他	10,539㎡	—	㎡	10,539㎡				
	合 計	147,573㎡	—	㎡	147,573㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	①倉庫の解体（▲79.33㎡）、②倉庫の新設（+6.45㎡）⇒▲72.88㎡（4）			
		65,144 65,071㎡ (65,144 65,071㎡)	—	㎡ (— ㎡)	65,144 65,071㎡ (65,144 65,071㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	56室	42室	4室	24室 (補助職員 0人)	— 室 (補助職員 — 人)				
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科			18 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本	受入数変動による変更（5） 受入数変動による変更（4） 学科単位で特定不能なため、大学全体数	
	国際コミュニケーション学科	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
		851,592 [265,763] 840,560 [263,721] 819,869 [258,981] (851,592 [265,763]) (840,560 [263,721]) (819,869 [258,981])	17,809 [5,474] 17,546 [5,256] 17,011 [4,934] (17,809 [5,474]) (17,546 [5,256]) (17,011 [4,934])	5,248 [5,248] 5,311 [5,311] 4,705 [4,705] (5,248 [5,248]) (5,311 [5,311]) (4,705 [4,705])	2,585 2,068 2,283 (2,585) (2,068) (2,283)	0	0		
	計	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
		851,592 [265,763] 840,560 [263,721] 819,869 [258,981] (851,592 [265,763]) (840,560 [263,721]) (819,869 [258,981])	17,809 [5,474] 17,546 [5,256] 17,011 [4,934] (17,809 [5,474]) (17,546 [5,256]) (17,011 [4,934])	5,248 [5,248] 5,311 [5,311] 4,705 [4,705] (5,248 [5,248]) (5,311 [5,311]) (4,705 [4,705])	2,585 2,068 2,283 (2,585) (2,068) (2,283)	0	0		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	6,649㎡	680		870,940					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体			
	10,808㎡	野 球 場 1 面		テ ニ ス コ ー ト 9 面 他					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	開設年度における教員1人当り研究費等、共同研究費等、図書購入費及び設備購入費の金額を実績額に修正（5） 教員1人当り研究費等の開設年度は国外研究員該当なし等のため、図書購入費は開設前年度、開設年度とも消費税（9%・消費税）の会計処理変更等のため、設備購入費の開設前年度はサーバ更新等の実績、開設年度は教室PC環境整備見直し等のため（4） 大学全体、図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用料を含む）を含む。
		教員1人当り研究費等	453 505 574千円	574千円	図書購入費	169,987 176,419千円	168,667 171,347 176,419千円	176,419千円	
		共同研究費等	2,098 4,500千円	4,500千円	設備購入費	81,968 104,000千円	75,243 78,129 128,000千円	56,400千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,294千円	1,144千円	1,144千円	1,144千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、寄付金収入及び補助金収入によって維持を図る。						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東京経済大学						平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
経済学部	4	530	-	2120	-	1.03	-	1.03	-	-	昭和24	-		
経済学科	4	375	-	1500	学士(経済学)	1.03	-	1.03	-	-	昭和24	東京都分寺市南町1丁目7番34号		
国際経済学科	4	155	-	620	学士(経済学)	1.03	-	1.03	-	-	平成14	同上		
経営学部	4	565	3年次30	2320	-	1.03	-	1.04	-	-	昭和39	-		
経営学科	4	385	-	1540	学士(経営学)	1.03	-	1.04	-	-	昭和39	東京都分寺市南町1丁目7番34号		
流通マーケティング学科	4	180	3年次30	780	学士(流通マーケティング)	1.03	-	1.04	-	-	平成10	同上		
コミュニケーション学部	4	240	-	960	-	1.08	-	1.08	-	-	平成7	-		
メディア社会学科	4	150	-	600	学士(コミュニケーション学)	1.14	-	1.16	-	-	平成7	東京都分寺市南町1丁目7番34号	令和4年度入学定員変更(△75) 令和4年度名称変更 令和4年度学科単独募集開始	
国際コミュニケーション学科	4	90	-	360	学士(コミュニケーション学)	0.98	-	0.93	-	-	令和4	同上		
現代法学部	4	250	3年次20	1040	-	1.06	-	1.03	-	-	平成12	-		
現代法学科	4	250	3年次20	1040	学士(現代法学)	1.06	-	1.03	-	-	平成12	東京都分寺市南町1丁目7番34号		
大学全体	4	1585	3年次50	6440	-	-	-	-	-	-	-	-		

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

・山田 晴通教授において、学部長就任により、職名に追記。また、担当科目の見直しにより、科目削除。
・中村 副郎教授において、担当科目の見直しにより、科目削除。
・南 篤太郎教授において、担当科目の見直しにより、科目追加。
・光岡 寿郎教授において、担当科目の見直しにより、科目削除及び科目追加。
・大尾 侑子准教授において、担当科目の見直しにより、科目追加。
・小林 誠准教授において、担当科目の見直しにより、科目削除及び科目追加。
・小山 健太准教授において、担当科目の見直しにより、科目追加。
・林 剛大准教授において、担当科目の見直しにより、科目追加。
・松永 智子准教授において、担当科目の見直しにより、科目追加。
・ロス ピーター准教授において、担当科目の見直しにより、科目削除。
・大橋 香奈准教授において、専任講師から准教授に昇格。
・池原 正子(兼担)教授において、担当科目の見直しにより、科目削除。
・遠藤(井上) 愛(兼担)教授において、退職により、科目削除。
・大岩 直人(兼担)教授において、担当科目の見直しにより、科目削除。
・北村 智(兼担)教授において、担当科目の見直しにより、科目削除。及び役職就任により科目追加。
・佐々木 裕一(兼担)教授において、担当科目の見直しにより、科目追加。及び就任予定年月を修正。
・柴内 康文(兼担)教授において、担当科目の見直しにより、科目削除。及び役職就任により科目追加。
・竹内 秀一(兼担)教授において、2022年度国内研究員により、科目削除。及び就任予定年月を修正。
・町村 敬志(兼担)教授において、担当科目の見直しにより、科目追加。及び就任予定年月を修正。
・山下 玲子(兼担)教授において、担当科目の見直しにより、科目削除。
・新正 裕尚(兼担)教授において、退職により就任辞任。
・相澤 伸依(兼担)教授において、担当科目の見直しにより、科目削除。
・久保 健助(兼担)教授において、担当科目の見直しにより、科目削除。
・高井良 健一(兼担)教授において、役職就任に伴う減免措置により、科目削除。及び就任予定年月を修正。
・榎 基宏(兼担)准教授において、役職就任に伴う減免措置により、科目削除。
・野田 淳子(兼担)准教授において、担当科目の見直しにより、科目追加及び削除。
・高津 秀之(兼担)准教授において、役職就任に伴う減免措置により、科目削除。
・大久保 奈弥(兼担)教授において、准教授から教授に昇格。
・渋谷 知美(兼担)教授において、准教授から教授に昇格。
・福垣 秀典(兼担)講師において、担当科目の見直しにより、科目追加。
・吉見 崇(兼担)准教授において、専任講師から准教授に昇格。
・エバノフ 恵智子(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・堀口 剛(兼任)講師において、非常勤講師から専任講師に職種変更したことに伴い、兼任から兼任に変更。
・栗平 光生(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・小島 昭二(兼任)講師において、退職により就任辞任。
・山田 竹志(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・小澤 正典(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・中村 安菜(兼任)講師において、担当科目の見直しにより、科目追加。
・柴田 匡平(兼任)講師において、退職により就任辞任。
・寺本 直成(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・年齢は、令和4年5月1日時点の満年齢に変更。また、退職については修正。
・相澤 伸依(兼担)教授において、休職により、科目削除。
・清水 雄大(兼任)講師において、休職教員の担当交代により、科目追加。
・西村 友樹雄(兼任)講師において、休職教員の担当交代により就任。

【令和5年度】

・山田 晴通教授において、学部長就任により、職名に追記。また、担当科目の見直しにより、科目削除。
・中村 副郎教授において、担当科目の見直しにより、科目削除及び科目追加。
・長谷川 伸子教授において、担当科目の見直しにより、科目追加。
・南 篤太郎教授において、担当科目の見直しにより、科目削除及び科目追加。
・光岡 寿郎教授において、担当科目の見直しにより、科目削除及び科目追加。
・大尾 侑子准教授において、担当科目の見直しにより、科目追加。
・小林 誠准教授において、担当科目の見直しにより、科目削除及び科目追加。
・小山 健太准教授において、担当科目の見直しにより、科目追加。
・林 剛大准教授において、担当科目の見直しにより、科目削除及び科目追加。
・松永 智子准教授において、担当科目の見直しにより、科目追加。
・ロス ピーター准教授において、担当科目の見直しにより、科目削除及び科目追加。
・大橋 香奈准教授において、専任講師から准教授に昇格。また、担当科目の見直しにより、科目削除及び科目追加。
・Van Lommel, Pieter特任講師において、担当科目の見直しにより、科目削除及び科目追加。
・Flanagan, Bruce特任講師において、担当科目の見直しにより、科目削除及び科目追加。
・池原 正子(兼担)教授において、退職により削除。
・大岩 直人(兼担)教授において、担当科目の見直しにより、科目削除。
・北村 智(兼担)教授において、担当科目の見直しにより、科目削除。及び役職就任により科目追加。
・佐々木 裕一(兼担)教授において、担当科目の見直しにより、科目追加。及び就任予定年月を修正。
・柴内 康文(兼担)教授において、担当科目の見直しにより、科目削除。また、役職就任により科目追加。
・田村 和人(兼担)教授において、担当科目の見直しにより、科目削除。
・町村 敬志(兼担)教授において、担当科目の見直しにより、科目追加。及び就任予定年月を修正。
・山下 玲子(兼担)教授において、担当科目の見直しにより、科目削除及び科目追加。
・早船 健一郎(兼担)客員教授において、新しく科目を担当することになり就任。
・福垣 秀典(兼担)講師において、担当科目の見直しにより、科目追加。
・中村 安菜(兼担)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・エバノフ 恵智子(兼任)講師において、退職により削除。
・Chambers Garcia(兼任)講師において、担当科目の見直しにより、科目追加。及び就任予定年月を修正。
・Haukamp Iris(兼任)講師において、就任辞任により削除。
・堀口 剛(兼任)講師において、非常勤講師から専任講師に職種変更したことに伴い、兼任から兼任に変更。また、担当科目の見直しにより、科目追加。
・藤井 達也(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・片岡 亜紀子(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・遠藤(井上) 愛(兼担)教授において、退職により、科目削除。また、担当科目の見直しにより、科目追加。
・竹内 秀一(兼担)教授において、担当科目の見直しにより、科目削除。及び就任予定年月を修正。
・田 景(兼担)教授において、担当科目の見直しにより、科目追加。
・新正 裕尚(兼担)教授において、役職就任に伴う減免措置により、科目削除。
・相澤 伸依(兼担)教授において、休職により、科目削除。
・久保 健助(兼担)教授において、担当科目の見直しにより、科目削除。
・藤原 修(兼担)教授において、役職就任に伴う減免措置により、科目削除。
・西下 彰俊(兼担)教授において、就任予定年月を修正。
・高井良 健一(兼担)教授において、役職就任に伴う減免措置により、科目削除。及び就任予定年月を修正。
・大滝 修(兼担)教授において、担当科目の見直しにより、科目追加。
・久保田 慶(兼担)教授において、新しく科目を担当することになり就任。
・阿部 裕樹(兼担)准教授において、担当科目の見直しにより、科目追加。
・榎 基宏(兼担)准教授において、役職就任に伴う減免措置により、科目削除。
・野田 淳子(兼担)准教授において、担当科目の見直しにより、科目追加及び削除。
・高津 秀之(兼担)准教授において、役職就任に伴う減免措置により、科目削除。
・大久保 奈弥(兼担)教授において、准教授から教授に昇格。また、担当科目の見直しにより、科目削除。
・渋谷 知美(兼担)教授において、准教授から教授に昇格。
・久川 伸子(兼担)准教授において、2023年度国内研究員により、科目削除。
・田中 景(兼担)准教授において、担当科目の見直しにより、科目追加。
・小島 善一郎(兼担)教授において、准教授から教授に昇格。
・小島 昭二(兼担)准教授において、担当科目の見直しにより、科目追加。
・吉見 崇(兼担)准教授において、専任講師から准教授に昇格。また、担当科目の見直しにより、科目削除。
・新井田 智幸(兼担)准教授において、講師から准教授に昇格。
・李 吉熙(兼担)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・新井 博希(兼担)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・柳川 智香(兼担)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・三宅 若菜(兼担)講師において、退職により、兼任から兼任に変更。また、担当科目の見直しにより、科目追加及び削除。
・阿曾 千代(兼担)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・吉橋(和田) さやか(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・東平 光生(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・黒崎 茂樹(兼任)講師において、担当科目の見直しにより、科目削除。
・富田 洋一郎(兼任)講師において、担当科目の見直しにより、科目追加。
・橋本(小池) 泰泰(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・清水 雄大(兼任)講師において、休職教員の担当交代により、科目追加。
・西村 友樹雄(兼任)講師において、休職教員の担当交代により就任。
・Maria Dolores DOMENECH ALONSO(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・矢久保 典良(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・榎 基宏(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・小島 昭二(兼任)講師において、退職により就任辞任。
・山田 竹志(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・横田 浩一(兼任)講師において、退職により、削除。
・斎藤(五十嵐) みほ(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・小澤 正典(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・中村 安菜(兼任)講師において、担当科目の見直しにより、科目追加。
・高橋 明美(兼任)講師において、担当科目の見直しにより、科目削除。
・末田 美香子(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・柴田 匡平(兼任)講師において、退職により就任辞任。
・寺本 直成(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・古山 敬(兼任)講師において、担当科目の見直しにより、科目追加。
・ピアルケ 干咲(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・安田 行宏(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・若本 大輝(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・黒澤 和人(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・市川 収(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・柳瀬 典由(兼任)講師において、新しく科目を担当することになり就任。
・年齢は、令和5年5月1日時点の満年齢に変更。また、退職については修正。

(注) ・変更内容を指条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **職名に追記された学部長等の専任職員と兼任する場合は**、当該専任教員が提案を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学域法協議会による教員資格審査(A教員審査)を受けてください。**A教員審査を完了せずに専任教員として推薦書を担当することは出来ません。**
・ A教員審査の結果、「可」の教員判定を受けられている場合は「O教員審査済」と記入してください。
・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
6	6	4	0	16	0	8	7	3	0	18	0
(8)	(6)	(4)	(0)	(18)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
6	7	3	0	16	0	6	7	3	0	16	0
[0]	[+1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[+1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{16} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし						
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし						
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{18} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和3年)	二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究等に支障のないよう留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。	【届出】 遵守事項 一部授業においては、休暇期間に集中授業形式で開講しており、学生の履修上の配慮をした運営をしている。また、授業・課外活動の時間帯に配慮の上、両校地を結ぶスクールバスを運行しており、学生・教職員は、無料で利用することができる。あわせて、両校地を使用する非常勤講師については学内駐車場の自家用車使用を許可している。(4)(5)	履行中 引き続き、学生及び教員の教育研究等に支障がないように配慮する。(4)(5)
設置計画履行状況 調査結果 (令和4年度)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)(5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学的ファカルティ・ディベロップメントを推進することを目的とし、平成17年に全学FD会議を設置している。また、コミュニケーション学部独自でも学部教務委員会を中心としてFD活動を実施している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和3年度は、全学FD会議を6月1日～6日に持ち回りで開催した。構成員は、全学教務委員長、全学教務副委員長、各学部教授会が選出する教務主任1名（計4名）、全学共通教育センターが選出する教務主任1名、学務課長の計8名（教員構成員7名）で、委員長は全学教務副委員長である。

c 委員会の審議事項等

- ・教育交流会について
- ・新任教員研修会について
- ・教員相互の授業参観について
- ・事例報告会・講演会について

② 実施状況

a 実施内容

全学FD活動は下記のとおり。

- ・新任教員研修会【6月22日開催、新任教員17名参加】
- ・講演会「アフターコロナ時代の大学と教育-オンラインか対面化の二分法を越えて」【9月20日開催、教員16名参加】
- ・報告会「鳥の目から見た東経大」と「虫の目から見た東経大生」の狭間で【11月28日開催、教員25名参加】
- ・講演会「大学にしかできない障害学生支援」【2月1日開催、教員26名参加】

コミュニケーション学部FD活動は下記のとおり。

- ・「学生の選ぶベストティーチャー賞」受賞教員による講話「ゼミの実践事例」【6月8日開催、教員24名参加】
- ・コミュニケーション学部におけるライディング・サポートの現場から【2月17日開催、教員23名参加】
- ・学習成果の把握と教育課程へのフィードバック【3月1日開催、教員23名参加】
- ・2022年度海外研修プログラムの実施状況について【3月10日開催、教員25名参加】

b 実施方法

全学FD活動はオンラインミーティング（Zoom）を利用。事例報告会や講演会は録画したものを学内限定で公開している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

（上記「a 実施内容」に【 】内に開催日と参加人数を併記）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

いずれのFD活動も直接的に教育改善・授業改善に資する取り組みとなっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業改善に役立てることを目的に、全学共通のフォーマットによる授業アンケートを実施している。令和4年度は、第一学期を6月20日～7月30日、第二学期を12月2日～1月31日の期間で実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員については、全体集計と大学に対する意見・要望を各学部等教授会で報告している。また、教員自身の科目の集計結果および自由記述結果は、クラウド型教育支援システム上で個別に閲覧できる。

学生については、履修科目の集計結果はクラウド型教育支援システム上で個別に閲覧できる（自由記述結果を除く）。履修科目以外は、学務課窓口で閲覧できる（自由記述結果を除く）。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況 (回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

東京経済大学は、1900年、明治期実業界の先導者の一人である大倉喜八郎によって創立された大倉商業学校を前身としている。その建学の理念は、世界共通の商業知識を身につけ、世界を相手として商業活動をするのできる経済人（『世界に通用する商人』）を育成するところにあった。その後、1920年に大倉高等商業学校に昇格し、さらに、1949年に学制改革に伴って新制大学に昇格し、校名を東京経済大学に改めた。

本学は、このような旧大倉商業学校以来の歴史と伝統の上にたち、時代と社会の要請に応えるため教育研究の質的向上と教育施設の整備・拡充に努めてきた。戦後、経済学部1学部の単科大学として発足し、1950年には短期大学部、1964年には経営学部を設置した。さらには1970年以降、大学院を開設し、その拡充を図った。具体的には、1970年に経済学研究科修士課程、1976年に同博士課程、1984年に経営学研究科修士課程、1986年に同博士課程を開設した。

1990年代に入り、教育の質的充実と社会の多様化する教育需要に応えるため、学部学科の再編成が進められた。1995年にコミュニケーション学部を開設し、さらに1998年に経営学部流通マーケティング学科、1999年にコミュニケーション学研究科修士課程、本学創立100周年にあたる2000年に現代法学部、2001年にコミュニケーション学研究科修士課程、2002年に経済学部国際経済学科、2004年に現代法学研究科修士課程を開設した。また同年、21世紀教養プログラム、2017年にはキャリアデザインプログラムが設けられた。なお、現代法学部が開設した際に短期大学部、2001年に経済学部第二部、経営学部第二部、2013年に21世紀教養プログラムの学生募集を停止した。

このようにして、現代社会の諸要請に積極的に対応し、学部・学科・プログラム・大学院の整備・拡充を図り、同時にカリキュラムや教育方法にも創意工夫をこらしつつ改善を図り、複雑化した社会において多様な課題に対処できる能力を身につけた人材の育成に尽力し、不断の教育改革に取り組んでいる。

令和4年4月開設の国際コミュニケーション学科は、開設年度より毎年度、自己点検・評価を行っており、①現状説明、②長所・特色、③問題点を踏まえ、年度初めに①達成目標、②達成度を測るための客観的指標を定め、年度末には①取り組みと成果、②取組後の問題点について明らかにし議論を行っている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和6年度中に公表予定

b 公表方法

- ・本学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・令和8年度に評価機関（大学基準協会）による評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

◀ a で「有」の場合 ▶

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

◀ a で公表「無」の場合 ▶

d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。